

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和5年6月30日	
富山県知事	
新田 八朗 殿	
住 所 富山県南砺市坪野192	
氏 名 株式会社 藤井組	
代表取締役社長 藤井秀之	
電話番号 0763-82-0818	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 藤井組
事業場の所在地	富山県南砺市坪野192
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	建設業・総合工事業
② 事業の規模	1,099,661千円
③ 従業員数	48 人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1のとおり

（日本工業規格 A列4番）

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別紙1のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	別紙2のとおり	
	排 出 量_	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	別紙2のとおり	
	排 出 量_	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 解体工事において木くず、金属くず、廃プラスチック等に分別処理する
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今後も継続して混合廃棄物の排出を軽減する

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_		
	自ら再生利用を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_		
	自ら再生利用を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_		
	自ら熱回収を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_		
	自ら熱回収を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	別紙3のとおり	
	全処理委託量_	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	別紙3のとおり	
	全 処 理 委 託 量_	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

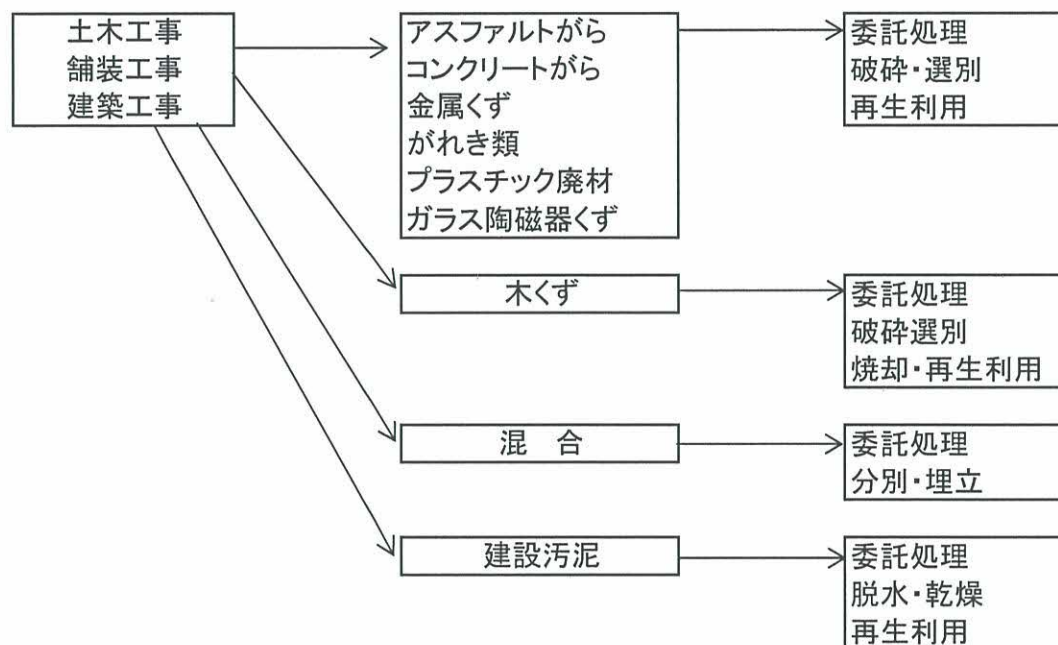
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

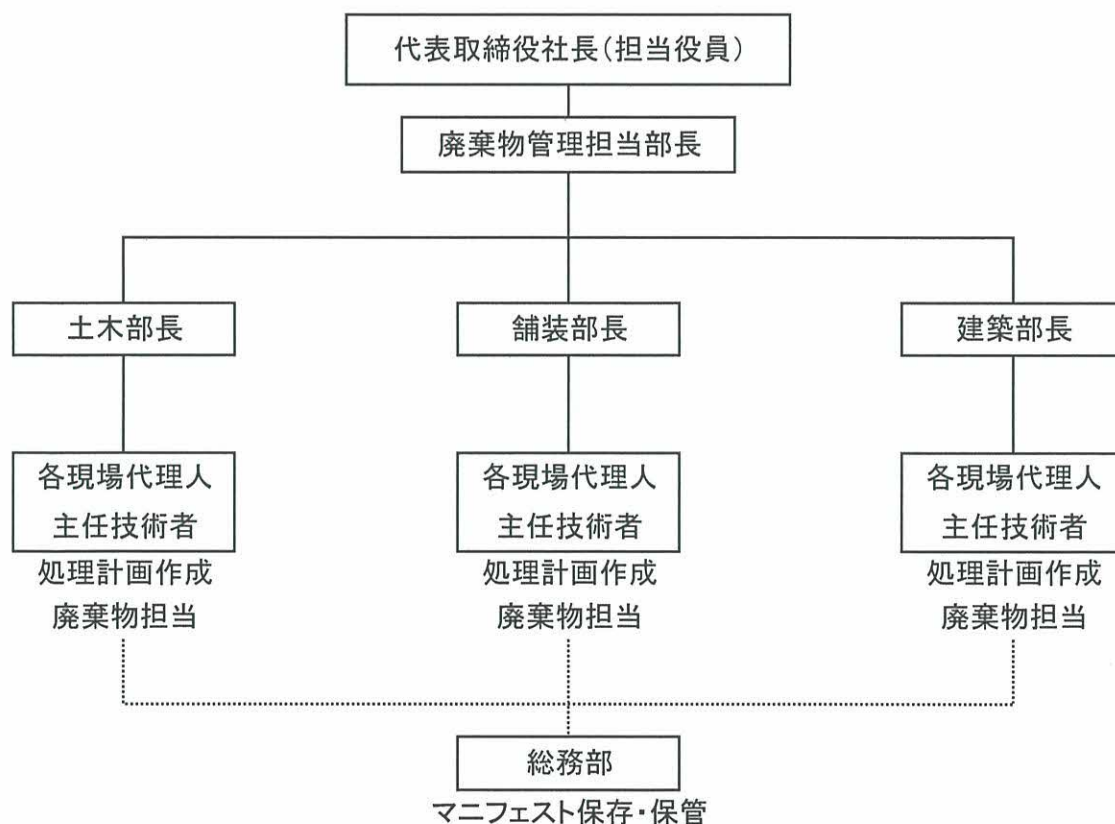
別紙1

当該事業所において現に行っている事業に関する事項

④産業廃棄物の一連の処理の工程



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 (管理体制図)



別紙2

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

現状

【前年度(令和4年度)実績】

産業廃棄物の種類	排出量(t)	処理の委託
アスファルトがら	3048.55	全処理委託
コンクリートがら	1240.88	全処理委託
木くず	61.65	全処理委託
金属くず	5.1	全処理委託
がれき類	3.58	全処理委託
廃プラスチック	21.13	全処理委託
ガラス陶磁器くず	0.84	全処理委託
建設汚泥	3.98	全処理委託
混合	20.28	全処理委託

これまでに実施した取組

工事の計画、設計段階からの産業廃棄物排出の抑制に努めた。

解体工事は分別を徹底し混合廃棄物をできる限り抑える。

【令和5年度目標】

産業廃棄物の種類	排出量(t)	処理の委託
アスファルトがら	2500.00	全処理委託
コンクリートがら	1000.00	全処理委託
木くず	50.00	全処理委託
金属くず	4.00	全処理委託
がれき類	3.00	全処理委託
廃プラスチック	15.00	全処理委託
ガラス陶磁器くず	1.00	全処理委託
建設汚泥	3.00	全処理委託
混合	15.00	全処理委託

今後実施する予定の取り組み

今後も廃材分別を推進し再資源化率の向上を図る。

現場関係者への産業廃棄物削減の啓発活動を行う。

別紙3

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度(令和4年度)実績】

産業廃棄物の種類	アスファルトがら	コンクリートがら	木くず	金属くず	がれき類	廃プラスチック	ガラス陶磁器くず	建設汚泥	混合
全処理委託量	3048.55t	1240.88t	61.65t	5.1t	3.58t	21.13t	0.84t	3.98t	20.28t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	0.96t	t	16.01t	t	t	t
再生利用業者への処理委託量	3048.55t	1240.88t	64.65t	4.14t	3.58t	5.12t	0.84t	3.98t	20.28t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t

これまで実施した取組
再生利用業者、優良認定処理業者への処理を委託する

②計画

【令和5年度目標】

産業廃棄物の種類	アスファルトがら	コンクリートがら	木くず	金属くず	がれき類	廃プラスチック	ガラス陶磁器くず	建設汚泥	混合
全処理委託量	2500t	1000t	50t	4t	3t	15t	1t	3t	15t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	2t	t	10t	t	t	t
再生利用業者への処理委託量	2500t	1000t	50t	2t	3t	5t	1t	3t	15t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t

今後実施する予定の取り組み
引き続き再生利用業者、優良認定処理業者への処理を委託する